

第66回日本栄養改善学会学術総会

テーマ

語り合おう!栄養学のこれからを in 北陸

期日：2019年9月5日(木)～7日(土)

会場：富山県民会館・富山国際会議場

学術総会会長 竹内 弘幸 (富山短期大学 教授)
学術総会副会長 山本 浩範 (仁愛大学 教授)
学術総会実行委員長 原田 澄子 (金沢学院短期大学教授)

参加費 講演要旨含む

資格	事前登録	当日登録
正会員	9,000円	11,000円
学生会員	3,000円	4,000円
日本栄養士会員	11,000円	13,000円
学生 (学生会員以外)		6,000円
上記以外の者		15,000円

事前参加登録

申込期間：2019年2月28日(木)～7月11日(木) 正午まで
それ以降は、第66回日本栄養改善学会の開催会場にて当日
申し受けいたします。

第66回日本栄養改善学会学術総会事務局

〈学術総会事務局〉富山短期大学 食物栄養学科内

〈運営事務局〉株式会社PCO

TEL : 076-461-7028 FAX : 076-428-9156

E-mail : kaizen66@pcojapan.jp

学術総会URL : <https://pcojapan.jp/kaizen66/>



入会方法

- ◇入会は随時受け付けております！
- ◇入会申込書は学会ホームページからダウンロードしてご利用ください。
http://jsnd.jp/img/kyoryoku_kaiin_moshikomi.pdf
学会事務局に申込書を送付する(郵送, Fax, メールいずれか)とともに郵便振替にて会費を納入してください。

協力会員年会費 一口 30,000円

協力会員の特典

- 本学会誌(年6冊発行)をお送りします。
- 毎年開催する学術総会のご招待状をお送りします。
- 学会誌「栄養学雑誌」、本学会ホームページにて、貴社名をご紹介させていただきます。
- 学会誌「栄養学雑誌」の広告掲載料の割引があります。

お問合せは・・・

【特定非営利活動法人日本栄養改善学会事務局】
〒108-0073
東京都港区三田 3-4-18 二葉ビル 904号
TEL 03-5446-9970 FAX 03-5446-9971
E-mail kaizen@jsnd.jp
URL <http://jsnd.jp/>



特定非営利活動法人

日本栄養改善学会

The Japanese Society of Nutrition and Dietetics

ご案内



JSND
The Japanese Society of Nutrition and Dietetics

科学的根拠に基づく
栄養学の実践のための
研究と実践活動を推進!

ご挨拶

本学会は、昭和29年(1954年)に栄養改善法制定を記念して、第1回日本栄養改善学会(現在の日本栄養改善学会学術総会)を東京YMCA講堂で開催して以来、60余年にわたり、栄養改善に関する研究と実践を推進してきました。平成16年には、特定非営利活動法人日本栄養改善学会に改組、学術団体としての組織の基盤整備を図り、栄養学の発展と活用を通して、日本人の健康の維持増進に寄与する活動をしてきております。

本学会の特徴は、栄養学の実践と研究の強い結び付きにあります。両者を担う学会員が集まり、相互に連携し切磋琢磨しています。研究は実践のためであり、実践は研究成果を活用する場であると同時に、次の研究課題を発見する場でもあります。この特徴を最大限に活かし、少子超高齢化が進展する日本社会の健康課題の解決に寄与すべく、積極的な学会活動を展開していく所存でございます。

つきましては、本学会の趣旨にご賛同いただき、ご入会いただきたく、ご案内申し上げます。

特定非営利活動法人 日本栄養改善学会

理事長 **武見ゆかり**
(女子栄養大学)

日本栄養改善学会とは?

学術研究の推進はもとより、病院・診療所、福祉・介護施設、学校、保育所、給食施設、外食・食品関連企業、行政等の場において、栄養学を基盤とした実践活動を行うことにより、栄養学の学術研究と実践活動の連携に特徴をおく学会です。

設立

昭和29年(1954年): 第1回日本栄養改善学会を東京YMCA講堂で開催
平成16年(2004年): 特定非営利活動法人に移行

会員数

正会員 約5,200人, 学生会員 約400人, 協会員 21団体

役員名簿 (2017年11月~2019年10月)

理事長	武見ゆかり	(女子栄養大学)
副理事長	南久則	(熊本県立大学大学院)
理事		
	赤松 利恵	(お茶の水女子大学)
	上西 一弘	(女子栄養大学)
	川久保 清	(共立女子大学)
	川島由起子	(長野県立大学)
	菊地 和美	(藤女子大学)
	木村 典代	(高崎健康福祉大学)
	小切間美保	(同志社女子大学)
	酒井 徹	(徳島大学大学院)
	佐藤 伸	(青森県立保健大学)
	下浦 佳之	(公益社団法人日本栄養士会)
	鈴木 公	(龍谷大学)
	瀧本 秀美	(国立研究開発法人医療基盤・健康・栄養研究所)
	塚原 丘美	(名古屋学芸大学)
	名和田清子	(島根県立大学)
	村山 伸子	(新潟県立大学)
	山本 浩範	(仁愛大学)
	由田 克士	(大阪市立大学大学院)
監事		
	富田 教代	(常磐大学)
	林 静子	(医療法人長谷川会湘南ホスピタル)

学術・編集関連

学術総会の開催: 毎年1回学術集会を開催

2000名余りの参加者が集まり、日頃の成果の発表と活発なディスカッションを行っています。

学会誌「栄養学雑誌」の発行

栄養学・健康科学、および栄養実践活動に関する論文、資料等を掲載、年6回発行しています。



出版事業

管理栄養士養成課程におけるモデルカリキュラム準拠教科書、「食事調査マニュアル」、「初めての栄養学研究論文」等を刊行しています。

「健康な食事・食環境」推進事業

健康増進や生活習慣病に関連する複数学会と連携し、外食・中食・事業所給食で、栄養バランスのとれた食事(スマートミール)を、継続的に、健康的な空間(受動喫煙防止)で、適切な情報と共に提供している店舗や事業所の認証制度を、世話役として運営。

管理栄養士等の栄養学教育モデル・コア・カリキュラムの作成

厚生労働省より委託を受け作成、カリキュラムを検討(2017, 2018年)

支部会単位で、実践栄養学研究セミナーを実施

栄養改善活動の現場での取組みを学会発表や論文として「形」にするための学習セミナーを開催。主に大学に所属する学会員がチューターとして手厚い指導を担当。

国際関連



2016年7月 アメリカ栄養教育行動学会での交流

★22nd IUNS-ICN 開催に向けた準備:
2021年に東京で開催される第22回国際栄養学会議に向けて日本栄養・食糧学会等と連携して準備を進めています。

★海外の学会との連携: 韓国の大韓地域社会栄養学会(Korean Society of Community Nutrition)や、米国の栄養教育行動学会(Society for Nutrition Education and Behavior)と連携し、会員交流や情報交換などを積極的に行っています。